

事業実施報告書

学校名 伊豆市立修善寺南小学校

校長名 手島 雅恵

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	全校児童266名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間）行事名（ ） ② その他（休み時間、給食） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	フラッグツアー等に参加することでオリンピック・パラリンピックについて関心を持ち始めた子どもたちが、競歩のオリンピックに競技生活に関する話を聞いたり、競歩の歩き方を体験したりする活動を通して、オリンピック・パラリンピックについてさらに興味を深め、スポーツに親しもうとする気持ちをもつことができる。
5 取組内容	・競歩のオリンピックである山崎勇喜選手（自衛隊体育学校所属）を講師として招き、競技生活の話・オリンピックの話を聞いたり、競歩の歩き方を体験したりする活動を全校児童が行なった。 ・当日の日程 10:10～10:25 山崎選手と一緒に歩いてみよう（1・2・3年生対象） 10:30～11:15 競歩やオリンピックについて学ぼう①（4年生） 11:25～12:10 競歩やオリンピックについて学ぼう②（5年生） 12:15～12:50 給食交流（特別支援学級） 13:25～14:10 競歩やオリンピックについて学ぼう③（6年生）

	
6 主な成果	・オリンピックを迎えるにあたり、選手や競技、オリンピックについての紹介コーナーを設けることで子どもたちが事前に予備知識を得ることができた。オリンピック・パラリンピックへの興味関心が高まるとともに、競歩に関して学んだ上でオリンピックを迎えることができた。 ・オリンピックに幼少期からオリンピック出場までの話、さらに東京オリンピックを目指しているという話を聞き、あきらめずに努力を続けること、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れないことが大切であることを学んだ。穏やかな優しい語り口で、話の内容が子どもたちの心に響いた。 ・三大会連続出場のオリンピックとのふれあいということで、子どもたちの目の輝きがすばらしく、最後まで意欲的に活動していた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・オリンピック・パラリンピックへの興味を深めスポーツに親しもうとする気持ちをもたせるためには、まずオリンピックとのふれあいをする必要があると考え、オリンピックの訪問を要請しての事業を計画した。メディアの向こう側の存在が目の前で語ってくれたり、一緒に体を動かしてくれたりすることは子どもたちにとって大きな宝物になるとともに、これからの様々な活動のエネルギーの源となると思う。
8主な課題等	・今回のようにオリンピックの訪問を要請する場合、何のつてもない学校においては、オリンピックを選び、交渉し、所属団体や関連団体との連絡を取り合うことは困難を極める作業である。事業の中身はいろいろ考えられるが、子どもたちにとって最もインパクトのあるのがオリンピックとのふれあいであるので、対応してもらえるオリンピック・パラリンピアン 리스트を作っていたらとありがたい。
9来年度以降 の実施予定	・今年度、レスリングと競歩のオリンピックとのふれあいを行なうことができたので、可能であればパラリンピアンとのふれあいの機会を計画していきたい。 ・実践テーマに該当する内容について、総合的な学習等での取り組みを意識して教育課程を編成し、様々な資料を用意してオリンピック・パラリンピックについてやそれに関連する学習を進めていきたい。